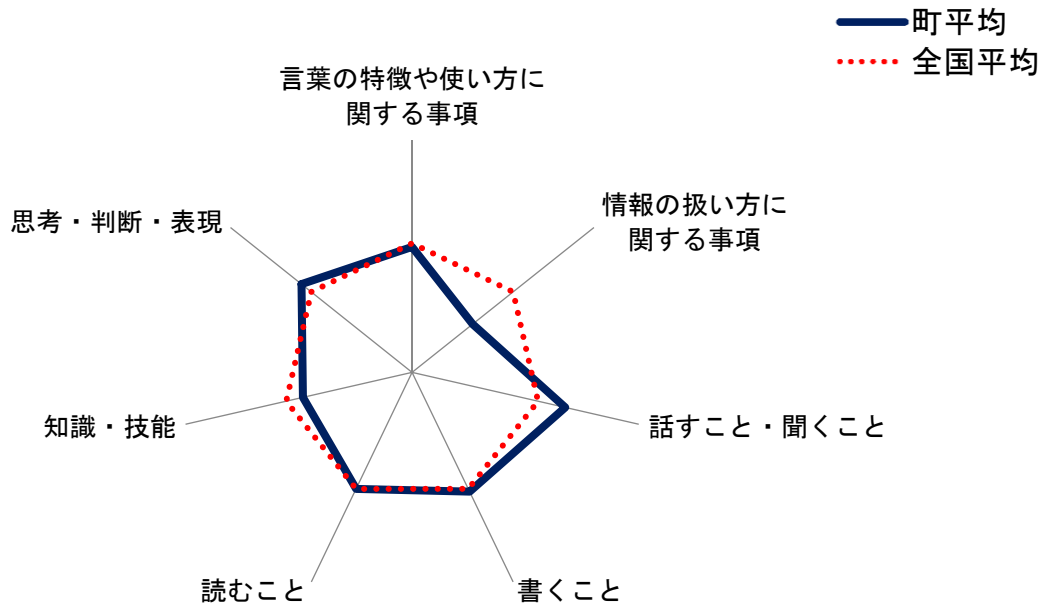
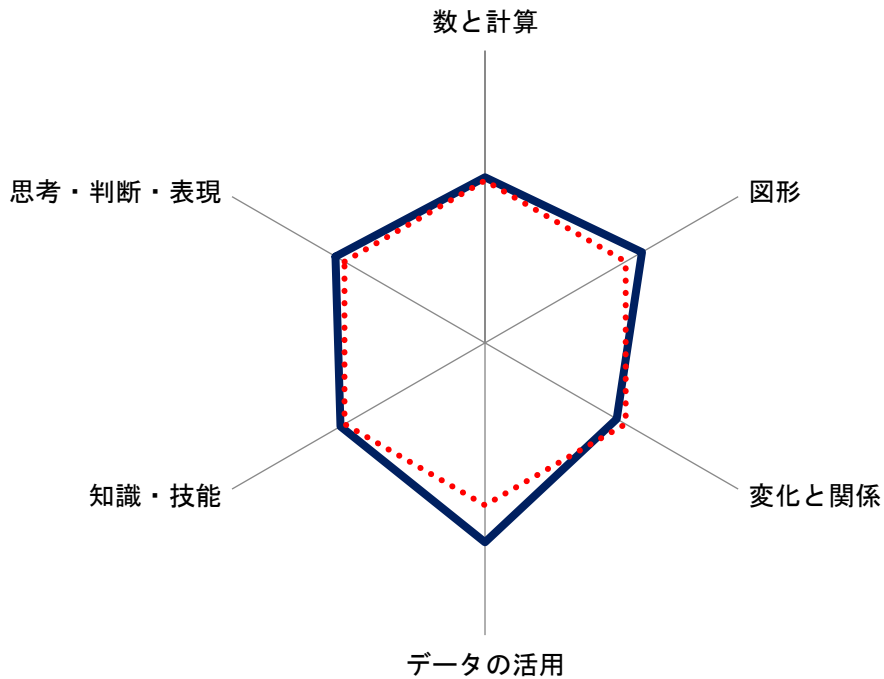


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

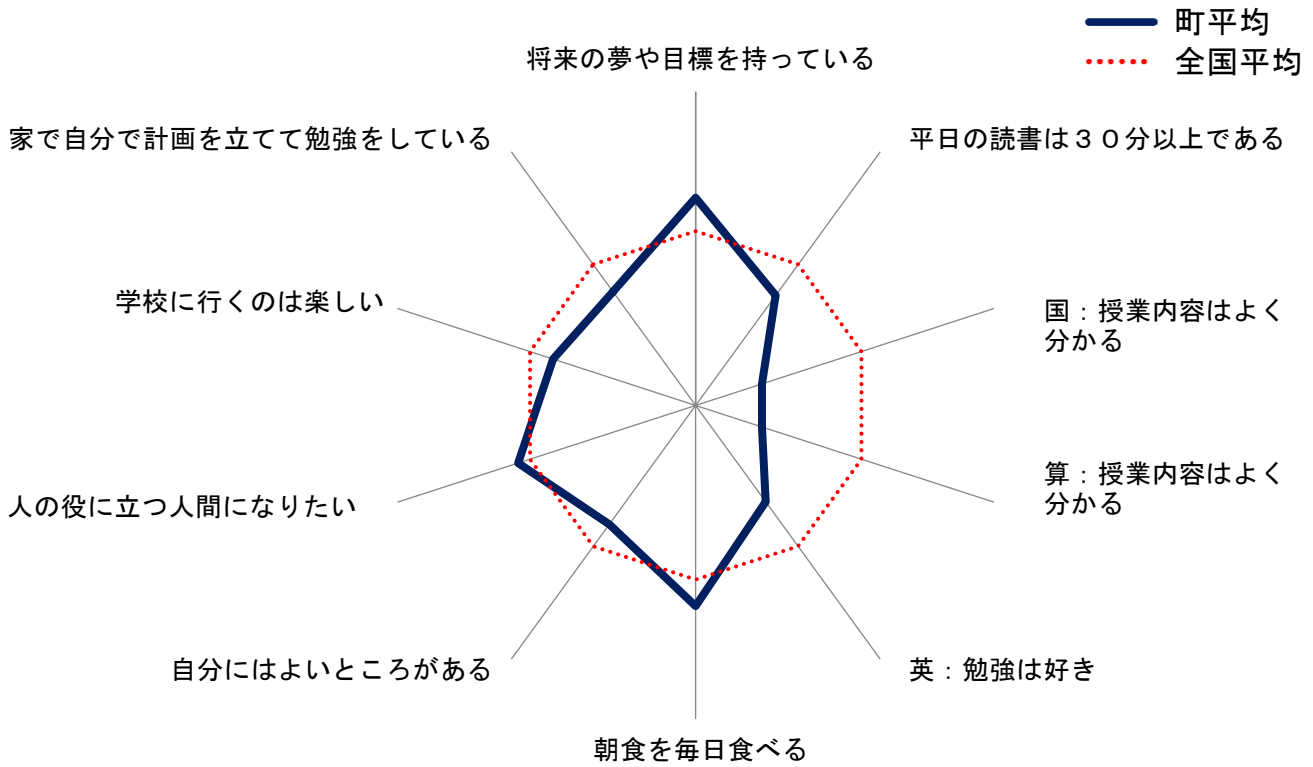
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数のほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に、「データの活用」の項目は、極めて良好な結果となっている。一方、国語の「話すこと・聞くこと」の項目は全国平均を大きく上回っているものの、「情報の扱い方に関する事項」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後、学力のより一層の定着と向上に向けて、県、町、学校が一体となって、基礎的な知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「朝食を毎日食べる」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、キャリア教育の充実の成果がうかがえる。一方、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目は、全国平均を大きく下回っている。今後は、児童にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう、適切にICTを活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った授業改善をより一層図っていくことが望まれる。